

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
 学年通信 第10号 号外
 平成30年12月19日(水)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
 孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
 自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

そうだ! 沖縄に行こう!! (その1)

2年生最大の行事である修学旅行が目前に迫ってきました。
 皆さんも楽しみにしていることだと思いますし、先輩達のほとんどが、高校で1番の思い出だという修学旅行の、おおまかなスケジュールをお知らせします。

	第1日目 2月13日(水)	第2日目 2月14日(木)	第3日目 2月15日(金)	第4日目 2月16日(土)
6:00	学校出発	南城市 民泊体験	朝食	朝食
8:00	関西空港発		タクシー研修 ホテル出発	首里城公園 (守礼の門)
10:00	那覇空港着	南城市 退村式	ホテル集合	昼食 那覇空港発
12:00	ひめゆり平和 祈念資料館 見学			伊丹空港着
14:00	南城市 入村式 民泊体験	夕食 (ステーキハウス)	夕食	
16:00		ホテル着		学校到着
18:00				
20:00				

(正式に決定したものは、これとは別に配布します。)

ここでまず確認しておきたいのは、第1日目から第2日目にかけての**民泊体験**です。

ここでは、沖縄の家庭料理を味わったり、三線など沖縄の芸能に触れたり、農業体験をさせてもらったりと、お世話になる家庭が、それぞれの趣向を凝らしてもてなして下さいますので、沖縄の家庭の雰囲気を感じたいと思います。

ただし、これとは別に「平和学習」の一環として、戦跡の訪問や慰霊碑の参拝などもお願いしております。現在は復興した沖縄ですが、皆さんの歩く場所がどこであっても、地元沖縄の人にとっては悲しい記憶の残る場所であり、鎮魂の場であるということ意識して行動してほしいと思います。

次に確認したいことは、第3日目に行われる**タクシー研修**です。この日は、私服で行動してもらいますが、当日着る私服については修学旅行出発前に簡単なチェックを行います。これは、沖縄に遊びに行くのではなく、あくまでも研修に行くのであり、その節度を守った服装であるかどうかを見させてもらうためです。

当日の出発前にも、もう一度確認してOKをもらえた班から出発することになります。



ので、この点も確認しておいてください。

したがって、出発時間は8時30分以降になります。
 また、**ホテルの集合時間は17時30分**です。
 これまでのケースを見ると、ほとんど遅れずに帰って来ていますが、この時間に遅れると、いろいろと面倒なことが起きます。

なぜなら、次の日には沖縄を離れるからです。
 飛行機の搭乗に向けた荷物の整理(何を手荷物として、何を預け入れ荷物とするか。そして、持ち込み禁止品の確認など。ちなみに、手荷物として持ち込むカバンは、最終日にもお土産を買うことも考えて余裕を持たせるとよいでしょう。)をしなくてはならないからです。

集合時間に遅れて夕食が食べられなかったのは仕方ないにしても、最終日には使わない荷物などと一緒に、たくさん買ったお土産を宅急便でホテルから家に送るといふ人もいると思います。到着が遅れたことで、宅急便の受付時間までに荷物の準備ができず、大変な思いをして学校に帰ったという先輩もいますので、注意しましょう。

そして、**タクシー研修で1番大切なことは、どこで、どのような研修を行うか**ということですが、これに関しては、秋季遠足研修ですでに経験していますので、細かいことは書きませんが、例えば、那覇市の国際通りや北谷町にあるアメリカンヴィレッジなどの商業施設で1日を過ごしたり、これらをハシゴするというような研修とかけ離れた計画を立てないでください。

また、沖縄の体験と言えば**マリンスポーツ**が上げられます。これは、様々な場所で、様々なアクティビティが用意されているのですが、危険を伴うものから安全面を配慮し、宿泊する**「シェラトン沖縄サンマリーナリゾート」**で体験できるものに限定したいと思います。

なお、**国際通りへは、行程の最後に行く(到着時間を14時以降にする)ように計画してください。また、16時までには、ホテルに向けて出発してください。**さらに、**国際通りに到着した時と離れる時には、必ず現地本部を設けますので報告するよう**にしてください。

皆さんのタクシー研修が有意義なものとなるように、この冬休みの期間中に、各個人で**沖縄のことを調べ、どこを訪れたいのか、または、何を体験したいのか**などの候補を見つけておくといよいでしょう。

最後になりましたが、先輩達が話すような、高校で1番の思い出という修学旅行にするためには、ただ沖縄に行けばいいというわけではありません。初めての場所を訪れた驚きや、普段は体験できないことを経験するといった理由だけのことであったら、好きなアーティストのコンサートに行くことや、お目当てのものを探して街を歩くことなどと大して変わらない経験であり、普段の記憶の中に埋もれてしまうはずですが、

皆さんにも、この修学旅行を高校での1番の思い出にしてほしいと思うのですが、そのためには**事前準備**をしっかりと行い、**沖縄に関する最低限の知識(歴史や文化、そして、太平洋戦争と今も続く基地問題)と理解**が必要であります。その上で、一人一人が修学旅行で訪れる**沖縄の何を見て、何を感じ、何を考えるのかという目的を持つ**ことが大切です。

そこで、次のような学習テーマを用意しました。各クラスで、タクシー研修班の仲間達と、この中から1つのテーマを選んで研究して、それを発表することを通して、沖縄に関する理解を深めてください。

学習テーマ ~ 福井県と比較しながら調べると、おもしろいですよ ~

1. 有名人 (政治家、文化人、芸能人など)
2. 文化 (伝統芸能、風習など)
3. 産業 (主な産業、名産品など)
4. 生活 (伝統料理、生活習慣など)
5. 名所・旧跡 (世界遺産、景勝地など)
6. 自然 (動物・植物・地形・気候など)
7. 沖縄の言葉
8. 戦前の沖縄 (~明治・大正)
9. 太平洋戦争と沖縄
10. 戦後の沖縄 (昭和~平成)

